



シラバス参照

タイトル「**2016年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2016年度 経済学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経済統計学 I		
担当教員	竹内 哲治		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	水3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2年次		
科目名 (英語表記)	Economic statistics I		
授業の概要・ねらい	<p>昨今の経済学では数値解析が必須となります。そこで、経済データの特徴に合った分析が必要ですが、本講義では統計学の入門、特に記述統計に重点を置いて授業を進めます。また、経済・ファイナンスなどの分析で用いるデータの紹介をします。</p> <p>他の統計関連科目は解析手法についての講義が主で、データの入手方法についてや特性は議論されていないと思います。この授業では手法の議論中心ではなくエンドユーザーを対象として講義します。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	イントロダクション：経済と統計学	
	2	データの種類：全数調査・標本調査・尺度	
	3	データの整理：記述統計学	
	4	分布とヒストグラム	
	5	平均と分散：リスクとリターン	
	6	関係性：相関関係と因果関係	
	7	確率と統計	
	8	統計的な判断：推測統計学（推定）	
	9	統計的な判断：推測統計学（検定）	
	10	経済ニュースのありか	
	11	政府統計と白書・レポートの見方	
	12	トピック1（マクロデータ）	
	13	トピック2（マイクロデータ）	
	14	トピック3（アンケート調査）	
15	まとめ		
到達目標	経済分析で用いる統計的な手法と代表的なデータを知る		
成績評価の方法	試験およびレポート		
教科書	大屋幸輔 (2003) 「コア・テキスト統計学」新世社；サイエンス社 ISBN:9784883840502 (2,079円:税込)		
参考書・参考文献	鳥居泰彦(1994)「はじめての統計学」日本経済新聞社 ISBN: 9784532130749 (2,233円:税込)		
	文系の人のための初歩レベルの授業です。他の統計関連科目を履修した人は簡単すぎるので履修するのを薦めません。		

履修上の注意・メッセージ	例えば、統計学IおよびIIなどはこの授業より詳細でアドバンストです。 なお、授業を円滑に運営するために授業中内のルールは合議のうえで決めますのでそれに従って頂きます。初回または第2回目で、成績評価も含めて説明しますので参加して下さい。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	この授業後、「経済統計学II」や「計量経済学入門」を履修してパソコンに触れる時間を卒業まで絶えずに作っておくことを薦めます。
授業時間外学習についての指示	準備学習と復習、さらに授業内容に関連する課題に関する調査・考察に相当数の時間を割いて自主的に学習すること。 この授業時間外学習の時間数も含めて単位制度が文部科学省により定められています（文部科学省省令大学設置基準第二十一条参照のこと）。
その他連絡事項	

